

んはあ〜チンカス
おいし〜ん♡♡

まったく

教え子とこんな
動画まで撮り
おってからの…

申し訳
ありま
せん…

尻壺女教師 涼子 Lesson5.

喘息パンクス

ちゃんとしに
報告するのは
関心だのう♡

変態へ○
教師には
天国じゃ
ない♡

よ、良け
れば…

その動画
差し上げ
ます…

ペ○フィリア
ワシはそっちの趣味
ないから結構だ

一年生は
さすがに引く。

ふほあ〜
す、すい
ません…

不純性交遊の
後ろめたさで
だいぶ気持ち
悪いマゾ豚に
仕上がって
きたのう…

ふむ…

…ところで先生

シロ…



今日はずいぶんと
地味な格好だなあ

あつ...すいません
朝、飯田先生に
注意されました...

またそんな
ピタピタの
穿いて

ジャージに
着替えなさい

はは、ついに
飯田先生に
叱られたか

あの人に目
付けられると
しつこいぞ

はあ...

だぼ



そうだ、今日は
気晴らしに一杯
飲みに行くか？

えっ!?

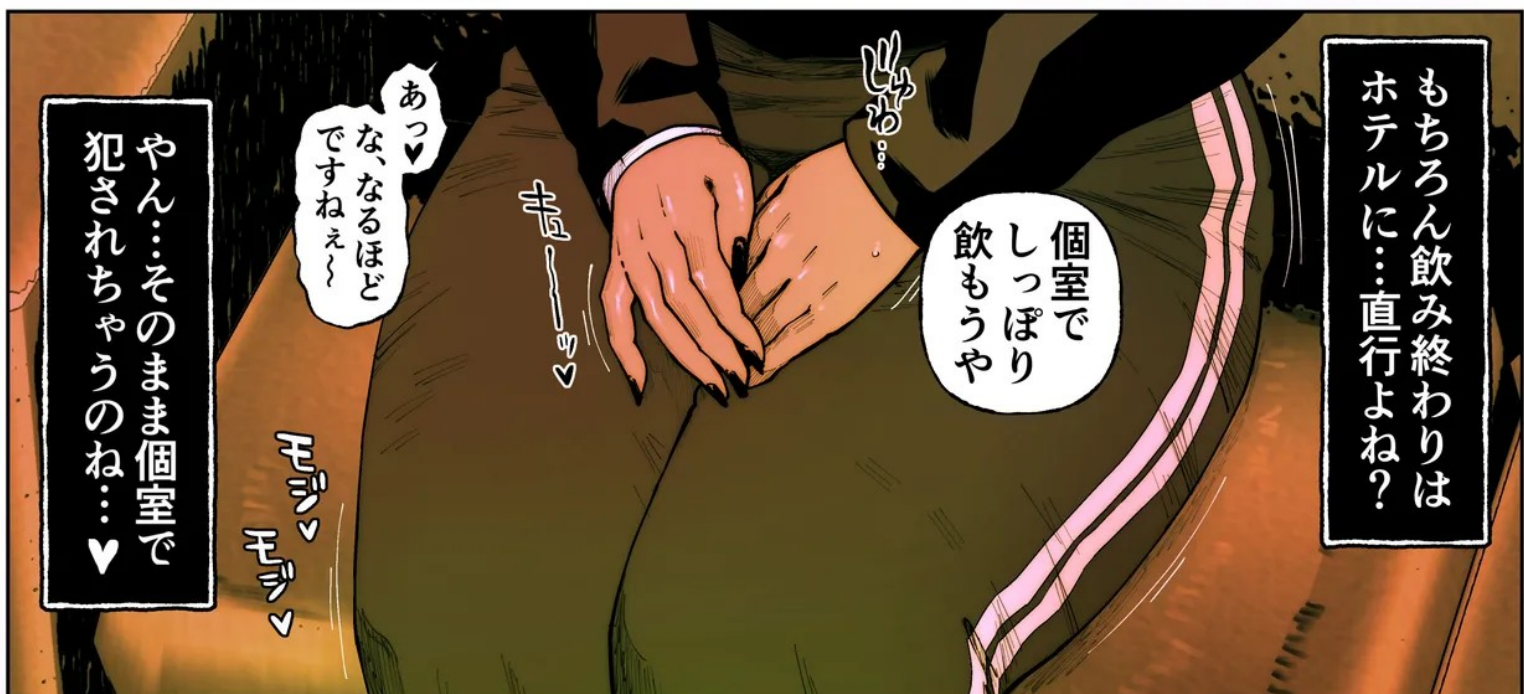
いいいん
ですかあ？

にゅあ

おう

やあん♡

校長先生に飲みに
誘われるなんて
光栄だわっ♡



もちろん飲み終わりは
ホテルに...直行よね？

個室で
しっぽり
飲もうや

あつ♡
ななるほど
ですねえ

やん...そのまま個室で
犯されちゃうのね...♡

モジ♡
モジ♡

校長と二人飲みを
想定していた
涼子であったが…

おせえぞ
サメちゃん

サメ
ちゃん!?

おれは…

今日はえらい
べっぴんさん
連れとる
やないかあ

イヒヒッ
愛人か!?

バカタレ
うちの先生や

案内された個室では
校長の友人らしき
男達がすでに席を
囲んで始めていた。

そ、それは
失礼した!!
わははっ





その装いは明らかに
セクハラを許容して
いるように思われ

スリッパも
出しとけ

あっはい

事実、友人が気軽に
尻を撫でる様子から

触つても
ええ女か

という認識を
バブル世代の
オヤジ達に
抱かせた。

さらに：
蒸れきった
パンストの
つま先から

オヤジの加齢臭を
上回る女の芳醇が
溢れていた…が
本人は緊張から
無自覚であつた。

あはは

ニクニク

その隙のある
放埒さが
むしろ涼子に
独特の色香を
与えていた。

じゃあ皆さん
小○校からの
幼馴染なん
ですなぁ

そうなん
ですよ

部活も同じ
野球部だね

全員補欠
やけどな

教職におよそ
相応しくない
濃いメイクも
武装というより
男の欲望に迎合
しているように
見える。

グロスで
ことさら
強調した
赤い唇は

あっぱは

そのハツラツとした
笑顔とは対照的な
陰気さを帯びていた。

笑う度に蛭の
ように妖しく
伸び縮みし



学校の倉庫に色々
揃ってあるので…

毎週そこ使わせて
もらってますねー

残りあと
三十秒!!

ハイッ!!

次はナタデココ
浣腸したまま
ベンチプレスだ!!

ハイッ!!

校長の指導の下
日々筋トレに
励んでいる涼子。

筋肥大した後は
がっつり肉食え

はっ▼

はっ▼

ハイッ!!▼

筋肥大調教と
油ギッシュな
食事により

涼子の肉体は
さらに厚みを
増していた。

がつつり鍛えて
がつつり食べる
マッチョなメス。

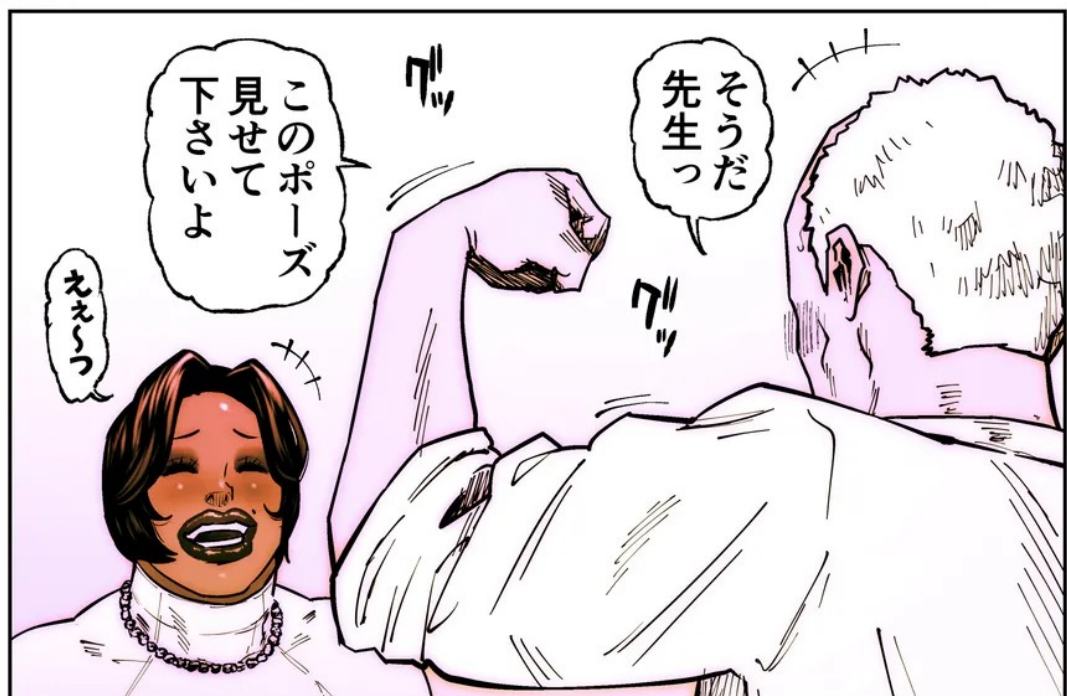
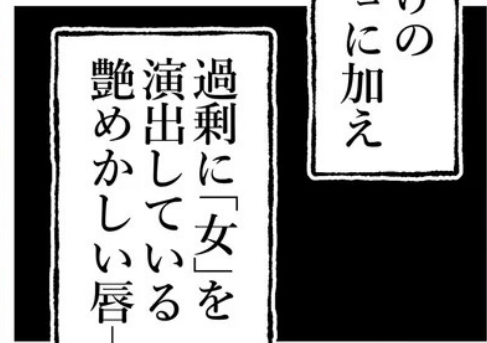
どこにでもいる
華奢で食の細い
メスではなく

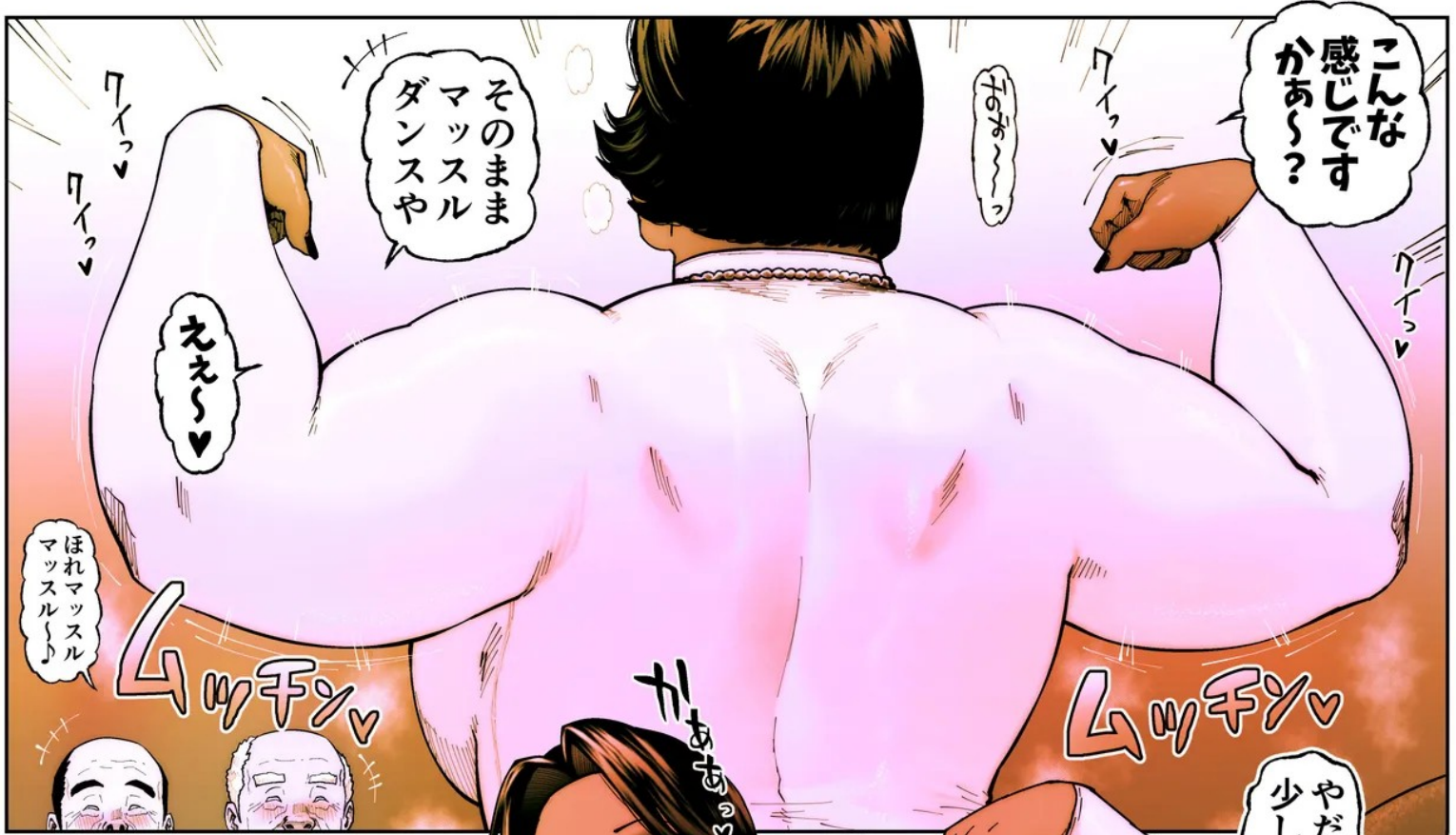
マゾだからこそ
逞しくありたい…

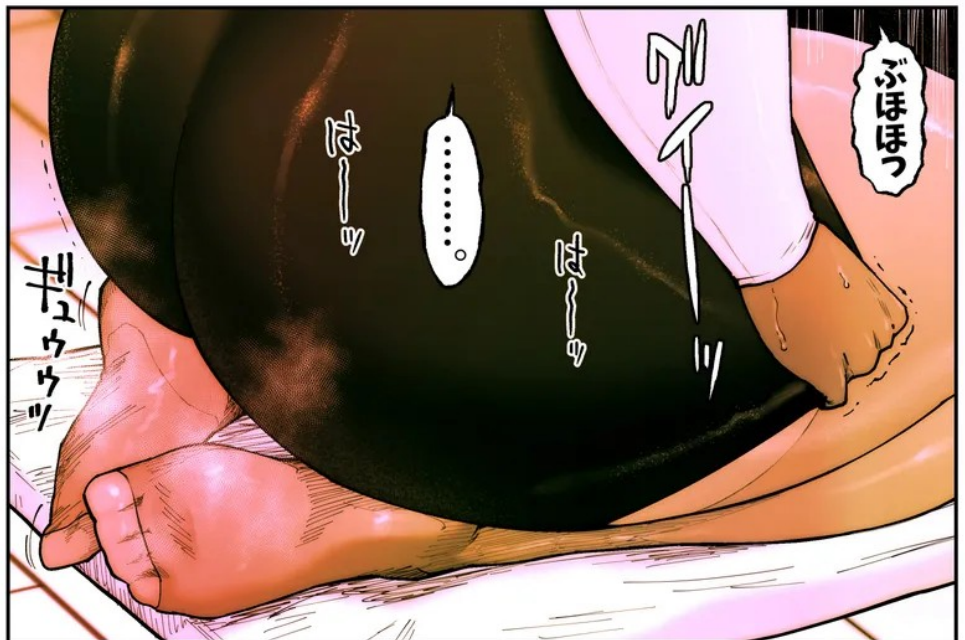
その屈強さと
マゾヒズムの
二律背反は

涼子を一層
魅力的な女に
変えた。

あはは、







校長を欲情させる
ためのノーパンが
思わぬ形で露呈し
一気に場が猥褻な
熱を帯び始めた。

素晴らしい
趣味ですよ
先生♡

隠さんでも
ええじゃない
ですかあ

あれえ？
つかしいな

穿き忘れたのかしら
朝バタバタしてて...

ええ？
あはは...

スケベさが
顔に出とるわ

.....
ッ

そうそうっ
スケベ女の
人相しとる

調子付いた
オヤジ達から
浴びせられる
ハラスメント

涼子が
真つ当な
人生を
歩んで
いれば

わははっ

間違いなく掴み
かかっている
類のオヤジ達…

性的消費
すんなオヤジ!!

しかし、今の
涼子にとって

自身のマッチョな
体型に向けられる
性的な視線は全て
官能の発露であり

二の腕が
たまらん
わあ…

しっかり肉も
乗っ取るのが
たまらん…

初対面のエロ
オヤジにすら

媚びた笑みを浮かべ
淫肉を熱く潤ませて
しまうのであった。

ドスケベ
ゴリラや♡

ええ？
やつだあ♡

ええ？
ゴリラみたい
じゃない
ですかあ？

モ
モ♡♡♡

じゅわ…♡

トコロシ
トコロシ

涼子が醸し出す
濃厚な色気に
オヤジ達は酔い

ケツがまた
たまらんわ

そう!!
先生は
ケツや

涼子もまた
ノーパンの羞恥と
輪姦への胸騒ぎを
誤魔化すために

やだあ
デカいだけ
ですよ

いつにも増して
アルコールの
摂取を早めて
いった……

あははっ

先生レベルの
ケツになると
スカート
穿いとつても
揺れとるのが
分かるからな

スカー
スカー

あははっ
やだあ

そりや相当な
デカ尻やな

わははっ

ほれ先生っ
こいつらにも
スカート越しの
ケツ肉揺らしを
見てもらえや

ぶははっ
ええ?

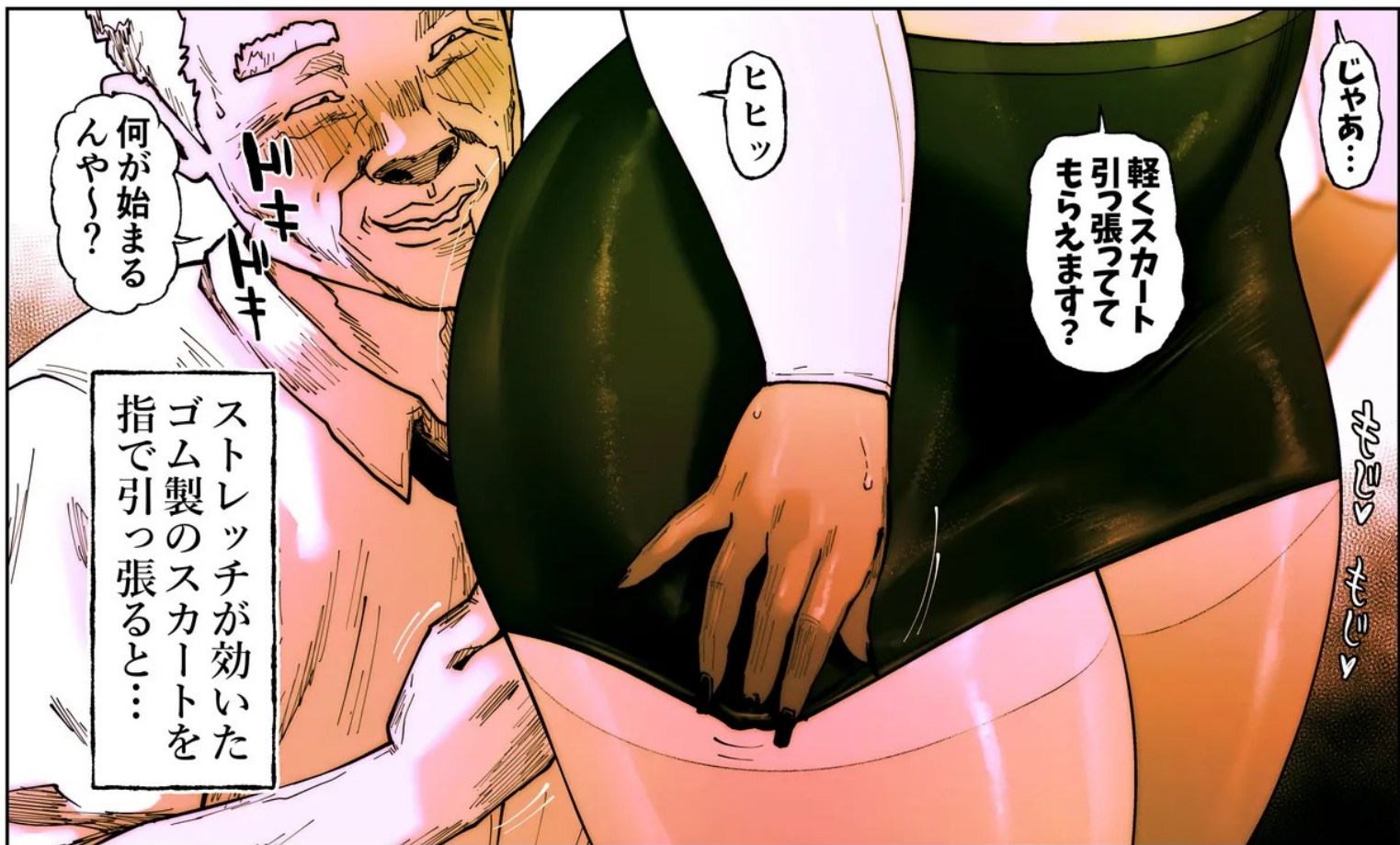
本気で言っ
てますう?

よっしゃ!!

ほんまに
揺れとるのか
おっちゃんか
確認したる

のそ
のそ
さすがに
揺れん
やろお

グイッ



じゃあ...

軽くスカート
引っ張ってて
もらえます？

ヒヒッ

ヒキ
ヒキ

何が始まる
んや？

ストレッチが効いた
ゴム製のスカートを
指で引っ張ると...

たてへ
たてへ



ん？

張り詰めた湾曲に
オヤジの酒臭い
熱気を感じながら

何や

何や？

涼子は立ったまま
貧乏ゆすりの要領で
膝を揺らし始めた。

ムムッ

ムム

ムム

ムム

ムム



パンストで引き締まった
臀部がさらに凝縮され
湾曲が僅かに硬度を増した。

ヒュー...

コンドーム
みたいな生地
やな...

ニクニク...

連続する振動は
瞬時に太ももを
駆け上がり

うははっ

揺れて
ますう？

圧縮された
二つの巨大な
ゴムの肉塊を
リズムカルに
弾ませた。

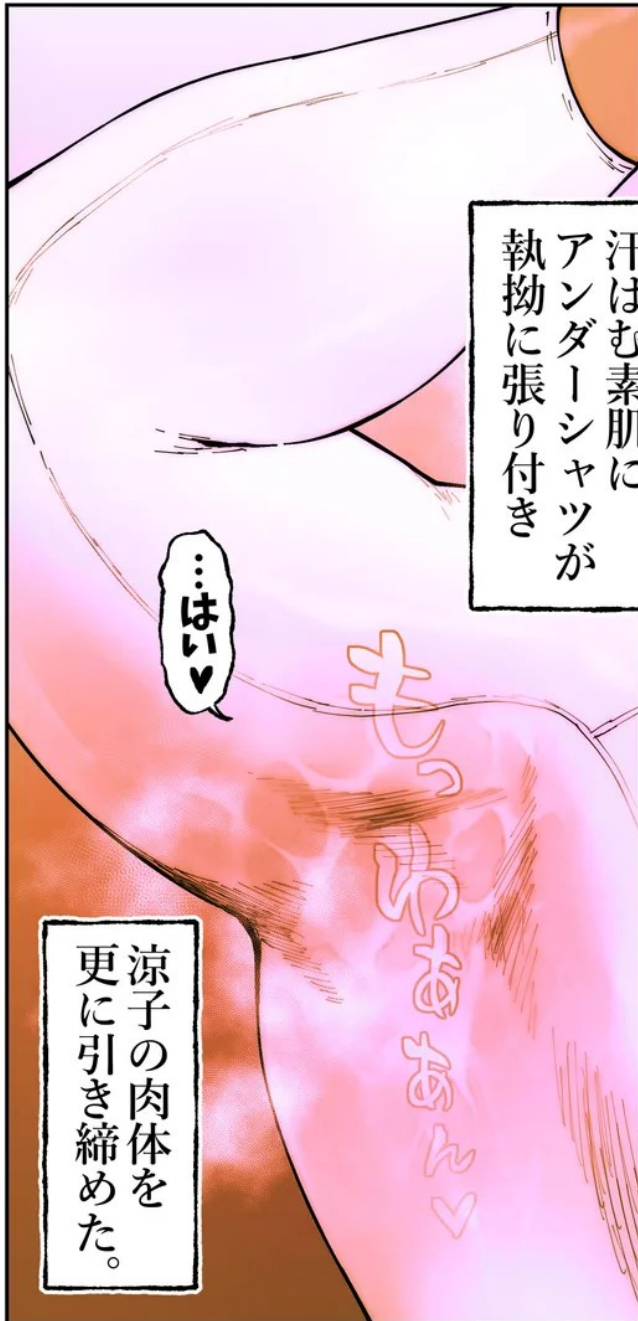
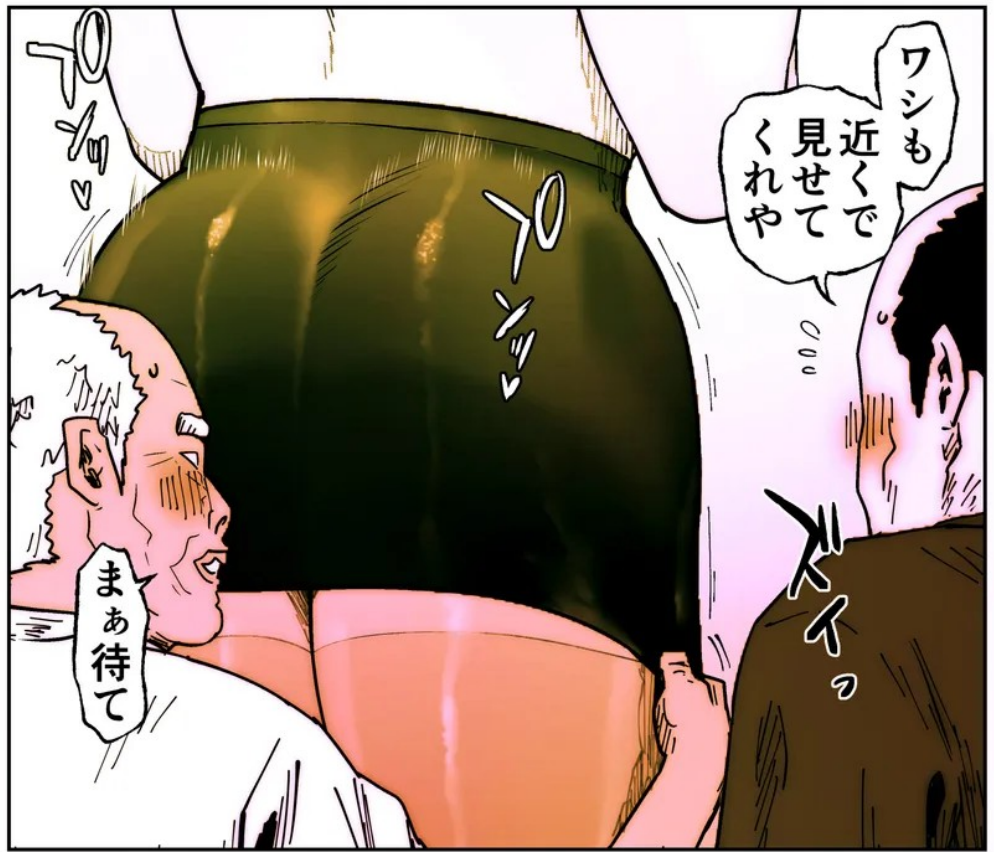
揺れとる
揺れとる

スカート越しに
ケツが暴れとる

跳ね上がる
左右の尻臀と
ゴムの収縮が
互いに激しく
反発し合い

のた打ち回る
その様相は

草原を駆ける
馬の躍動を
思わせた。



Mサイズのアンダーシャツ
ゴム製スカート、パンスト…
全身を包むそれら伸縮繊維が
筋肉の弾性をさらに増長させ

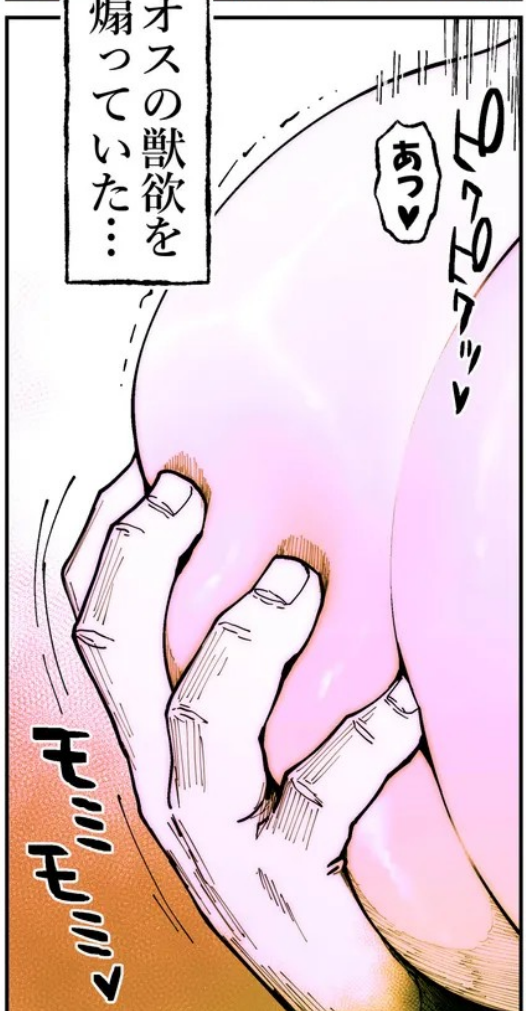
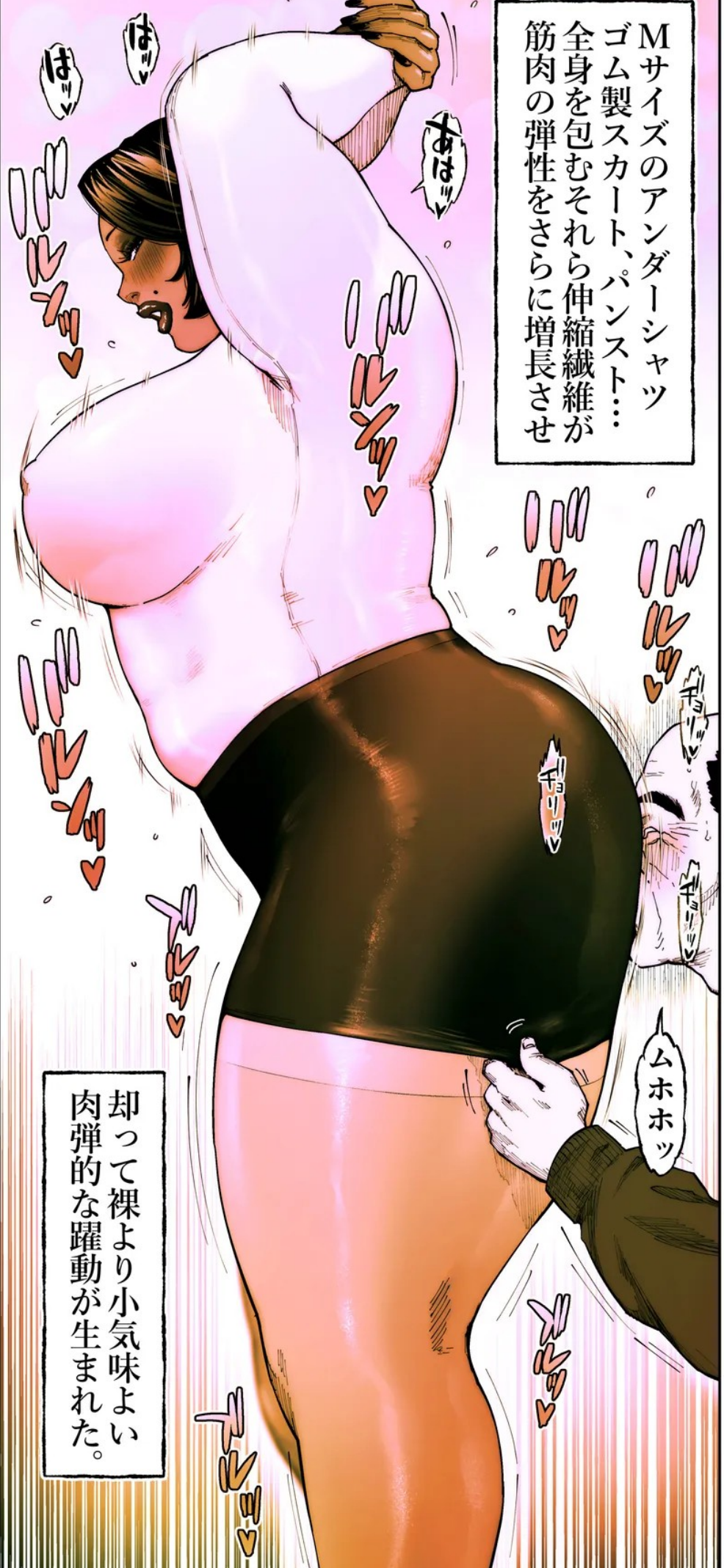
もはや全身が

オスの獣欲を
煽っていた…

却って裸より小気味よい
肉弾的な躍動が生まれた。

ムホホッ

あっ♡





やだあ♡

お触りは禁止
ですよ♡

涼子
ちゃん

軽く口で
しゃぶっちゃ
くれやあ...

あははっ
ええ？

ええや
んけ♡

ちよつと
校長お♡

口でしろとか
言われてるん
ですけど

何とか言っ
て下さいよ

ショリ♡
ショリ♡

グググ♡

グググ♡

グググ♡

チン♡

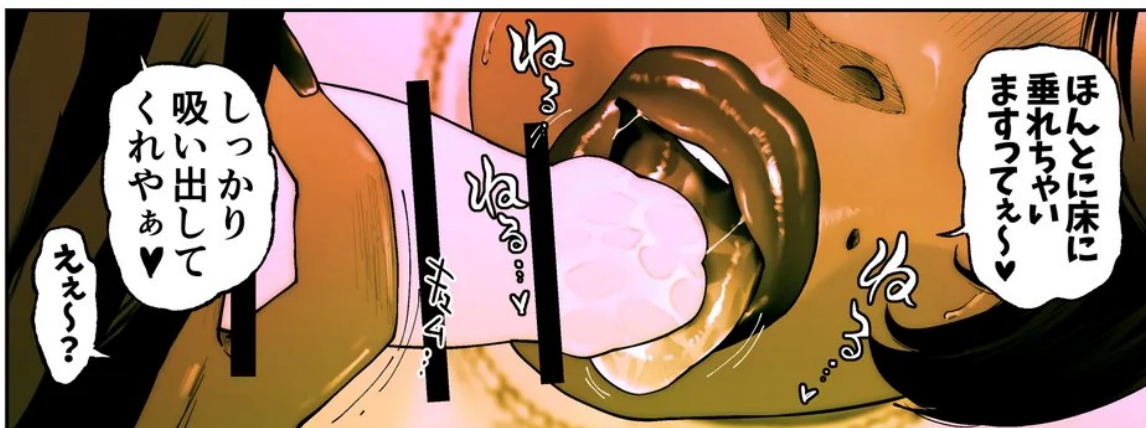
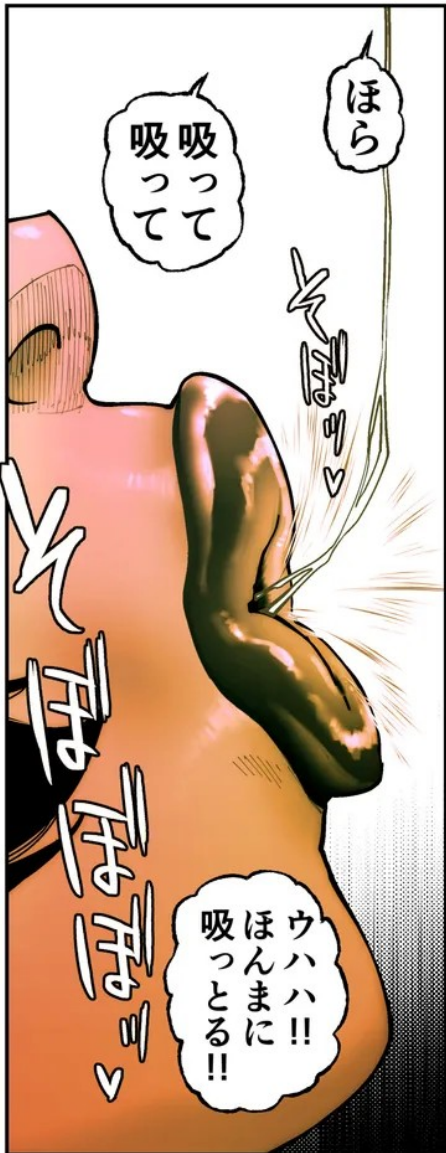
グググ♡

とりあえず
チ○ポ出すで
涼子ちゃん

ぶはは!!
やだあ

モザ
モザ

ニヤニヤ...



塩味の強い我慢オヤジ汁を
口蓋全体に行き渡らせながら
堪らず涼子は口淫をし始めた。

ついに
しゃぶり
始めたぞ

ぬお...おお
想像した通りの
ねちっこさや

肉唇の中でみるみる硬直
していく男根の変化に
涼子も悦びを隠せない。

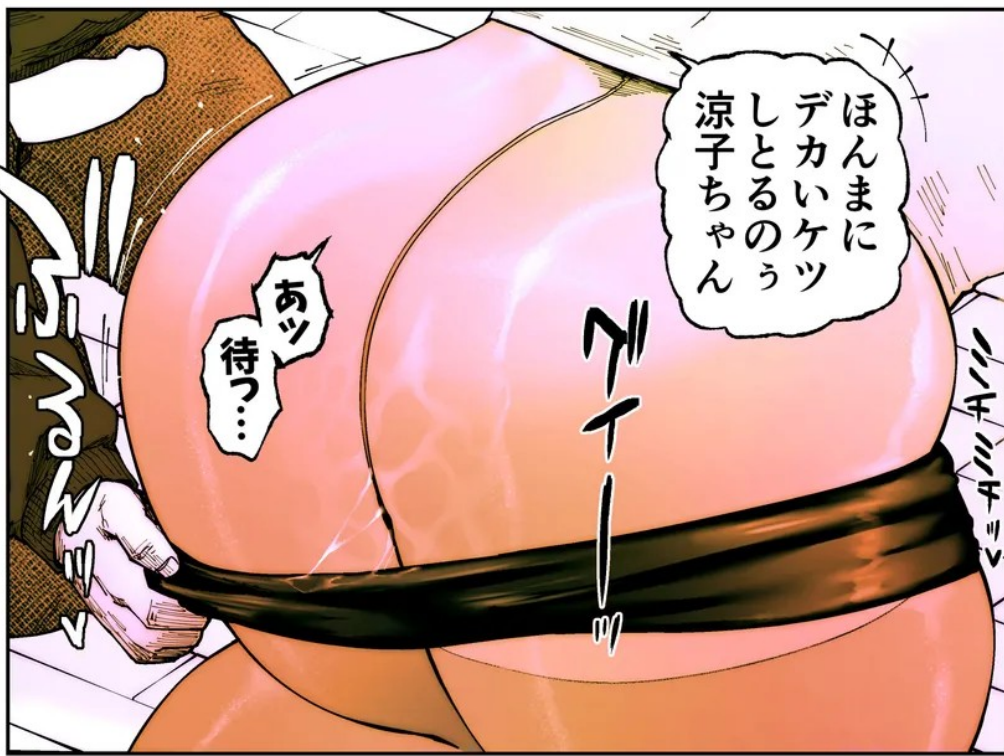
ほれ涼子
ちゃん

ワシのも
頼むわ

こりやたらまん...



しっかしー



ほんまに
デカイケツ
しとるのう
涼子ちゃん

あッ
待つ...



パンストに圧縮され
内側にべったりと
張り付いた小陰唇は

く、口で

します
からう...

バック詰めされた
活アワビのように
その厚い肉ヒダを
よじらせながら
多量の淫ら粘液を
滴らせていた。

今更何を言う
とるんやあ♡

やあ...

犯される寸前に
なって涼子は

ほれしっかり
しゃぶれや

千ラ...

男根の隙間から
流し目で校長の
許しを乞うた。

校長の許可を
得た涼子は
押し寄せる
漆黒の津波の
到達を予感し

惨めな鳴き声を
抑えるために
男根を喉元深く
まで咥え込んだ。

じゃあ
入れるで
涼子
ちゃん

予感は
的中し

生身の男根が
打ち込まれる
のと同時に

涼子は
アクメに
達した

おおっ

肉壺の内部は
収縮と弛緩を
繰り返しながら
男根に絡み付き

だふー♡

だふー♡

こりゃ
すごい…

抜き挿しに合わせて
いやらしく脈動した。

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

濃密な肉のうねりに
下半身が溶け落ちる
心地がしたオヤジは

支えるものを探して
涼子の大きく張った
腰を鷲掴みにした。

おおお…

ホーン…
腰の肉付きも
たまらんな…

一朝一夕では
作れないその
圧倒的腰つき。

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

めぼめぼ♡

思わず後ろから
驚掴みにして
犯したくなる…

そんな
肉々しい
腰つきを
目指して

中臀筋鍛錬も
怠らない涼子。

そんなに
涼子じゃ
ないでしょ

まだイケる
まだイケるっ

ぐ…おっ!!

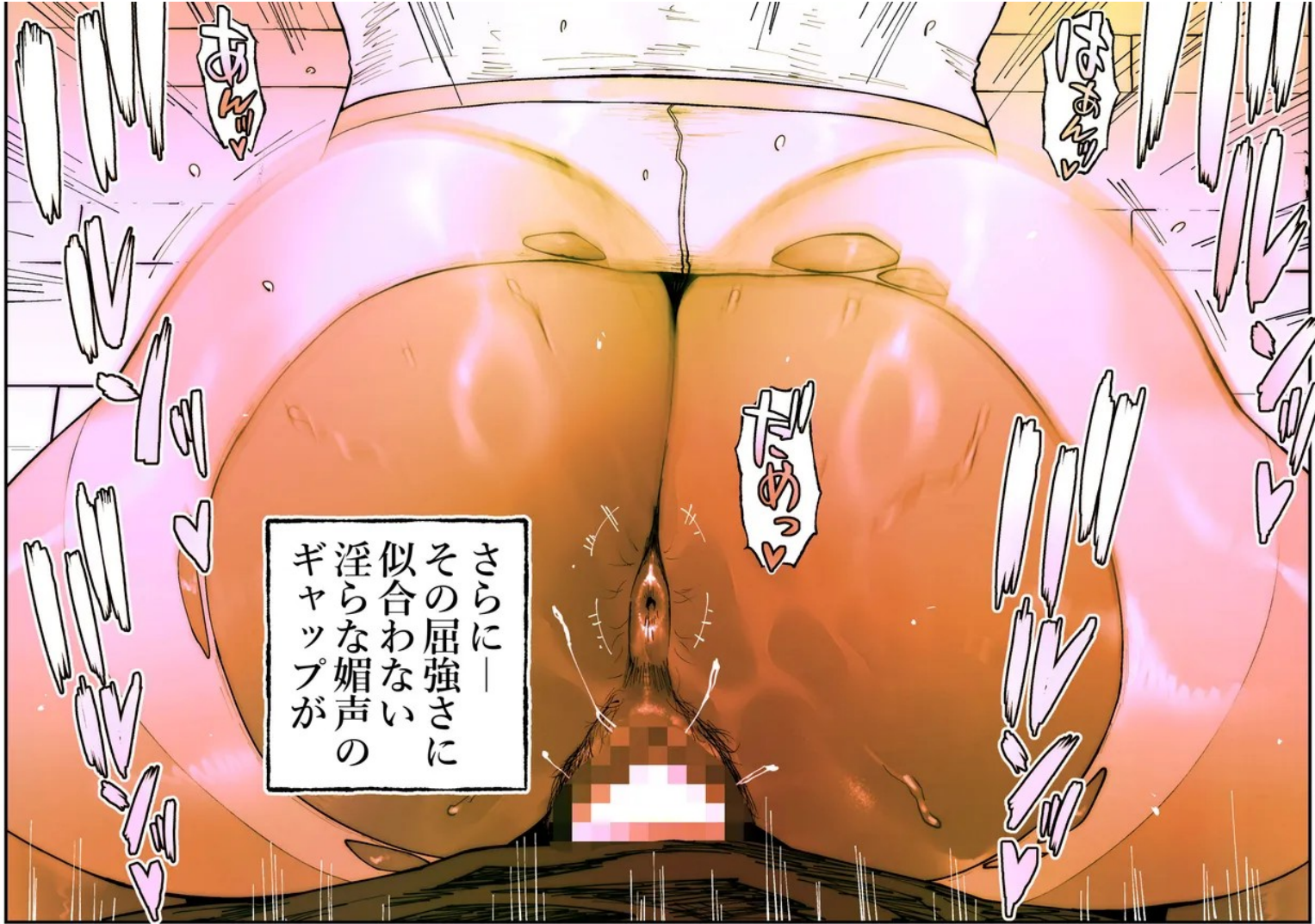
あ、変った!!

過酷な鍛錬の
無限の往復が

どんなに激しい
責めでもどっしり
構えて受け止める

野性的な肉弾の
隆起を作り上げた。

ムキッ♡
ムキッ♡



さらに—
その屈強さに
似合わない
淫らな媚声の
ギャップが

だめっ

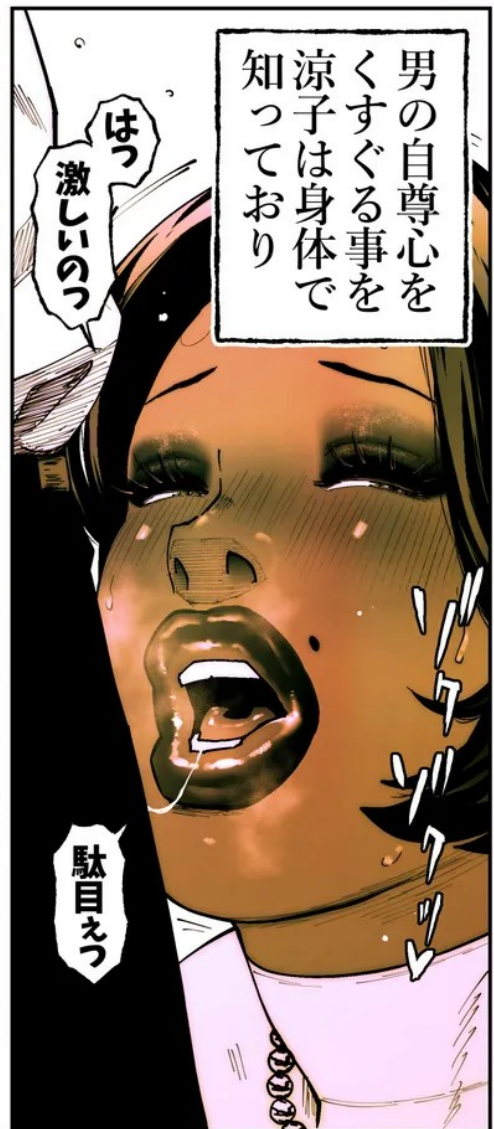


イヒヒ!!

レスラー
みたいな
身体して

可愛い声で
鳴くのう♡

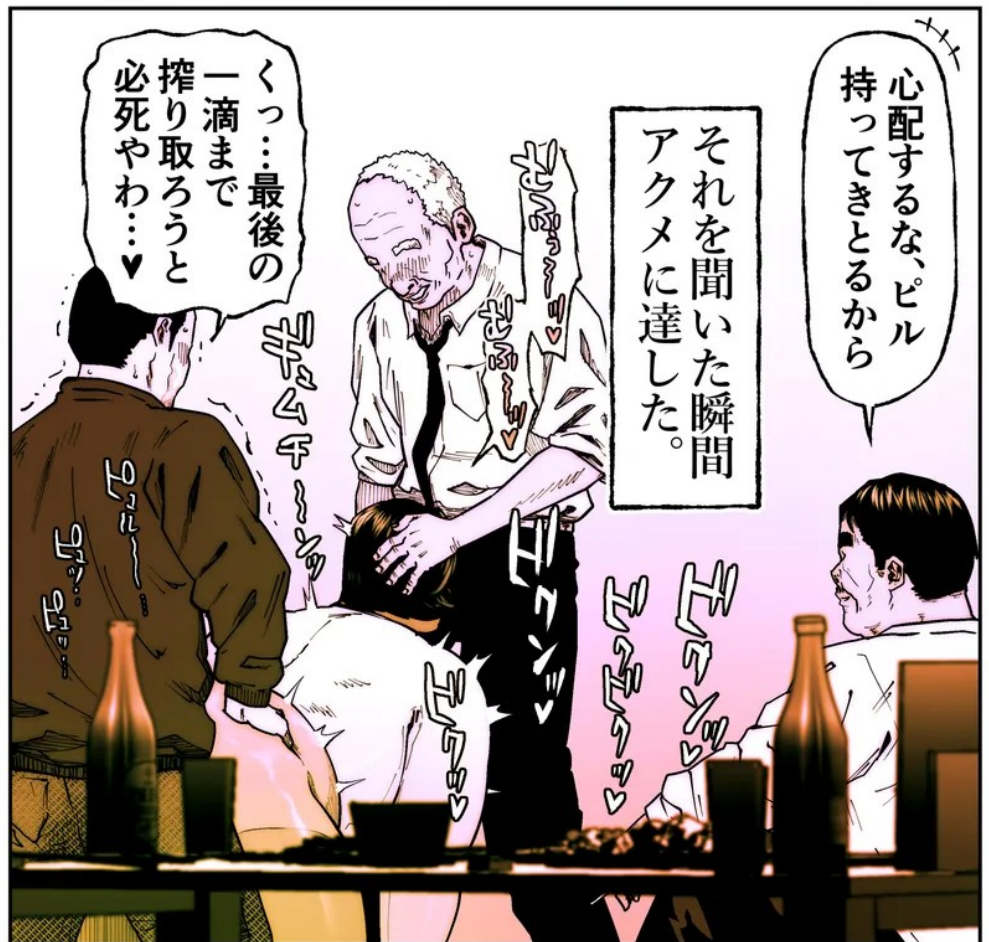
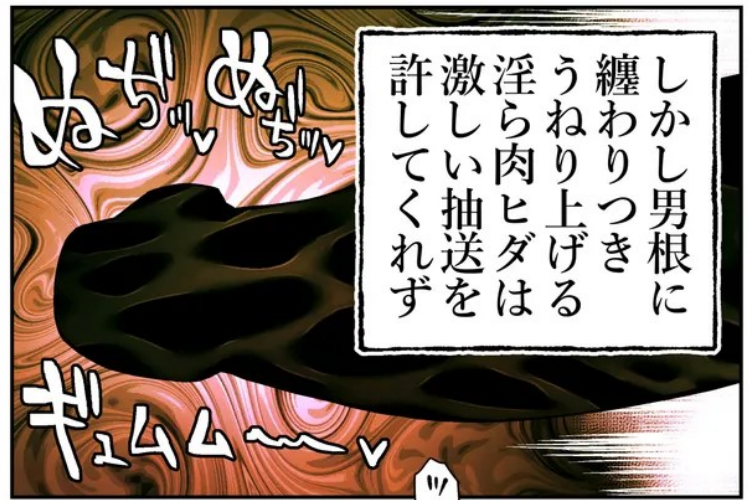
オヤジは一層
激しく男根を
涼子の尻臀に
打ち付けた。



男の自尊心を
くすぐる事を
涼子は身体で
知っており

はっ
激しいっ

駄目えっ



次は
ワシの
番や♡

ヒキヒキッ

中出しの
激みに震える
涼子の肉壺に

立て続けに
オヤジの男根が
打ち込まれた。

やあん
待っ…

おっ…♡
おっ…♡

いっ…♡
いっ…♡

膣内の精液を
掻き回される
おぞましさは

おっ…♡

排便しないまま
肛門性交する汚穢を
涼子に想起させた。

これ好き…♡

玉袋を打ち
付けられる
度に肛門と
肉壺の間を
粘っこい
汚穢官能が
行き来し

メチャクチャメチャクチャ

ぬほ♡
ぬほ♡
ぬほ♡

ぬほ♡
ぬほ♡

再びその中心に
激しいアクメの
うねりが生じた。

おっ…♡

おっ…♡
おっ…♡

オヤジもまた
アクメ肉ヒダを
擦り上げながら

うねりの最深部に
向けて熱い種汁を
盛大に放出した。

また
イック!!

あああ♡

んむ...

がはああ!!

ぐうッ...

こうして—
父親ほどの
年配者二人に
膣内射精
されながら
涼子は売女の
悦びを知った...

ニヤァ...